



第117期 近況報告

2017.4.1 ▶ 2017.9.30



富士急行株式会社

証券コード：9010



さがみ湖リゾート
プレジャーフォレスト



関東最大600万球の中で味わう、
日本最大の“体験型”イルミネーションリゾート

さがみ湖イルミオン

2017.11.3 (fri) ~ 2018.4.8 (sun) Light up

CONTENTS

| | |
|----------------------|----|
| ■ ごあいさつ | 1 |
| ■ FujiQ News | |
| ■ 新規施設続々オープン!! | 2 |
| ■ 福利厚生施設の拡充 | 5 |
| ■ 事業別概況 | 6 |
| ■ 連結・単独財務諸表 | 8 |
| ■ 会社概況／株式情報 | 10 |
| ■ 単元未満株式の買取・買増制度のご案内 | 11 |
| ■ 株主優待のご案内 | 12 |



株主の皆様には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移したものの、海外における不安定な政治動向や地政学的リスクの高まり等の影響が懸念されるなど、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、運輸、不動産、レジャー・サービス、その他の各事業にわたり、積極的な営業活動と経営の効率化に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期の営業収益は285億14百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は43億4百万円（同16.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は26億6百万円（同15.6%増）となりました。

各事業の具体的な取り組みは、6ページ以降に記載しておりますので、ご高覧くださいますようお願い申し上げます。

当社グループは、オリジナリティの高いハード、ソフトを生み出し、富士山エリアを世界的なリゾートエリアとしていくとともに、地域社会への貢献、自然環境への配慮など、企業の社会的責任を果たし、安全を全てに優先し、お客様に「夢・喜び・やすらぎ・快適・感動」を提供するアメニティビジネスのリーディングカンパニーを目指してまいり所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年11月
代表取締役社長 堀内 光一郎

発射1.56秒で時速180km“加速度世界一”コースター



平成13年12月に、驚異の「加速力」と「スピード」を体感できるコースターとして誕生した「ドドンパ」は、“もっと速さを極めたい”という想いから、今回、スタートからわずかに1.56秒で時速180km（※実測値）という「世界一の加速度」と、発射時の爆発的な加速力を受け止めるため、

コース途中にあった高さ52mの「垂直タワー」を、直径39.7mの「世界最大級ループ」にコースを変更して、「ド・ドドンパ」として登場しました。皆様もぜひ、「天上知らずのスピードキング」の「ド・ドドンパ」の圧倒的な加速力をご体験ください。



新規施設続々オープン!!



複合リゾート施設「初島アイランドリゾート」施設の拡充



アドベンチャーアイランド「VOTAN (ボウタン)」

無人島に漂着した少年が、不思議なものだらけの世界を冒険するというストーリーに沿って、原住民の集落跡地や、何かを捕らえていた檻、巨大なクモ

の巣、巨大植物、難破船などを模した10種類のオリジナリティあふれるアスレチックを攻略していくアトラクションです。迷路や吊り橋など、子どもはもちろん大人も「ドキドキ」「ワクワク」する仕掛けが満載です。



グランピングコテージ「アジアリゾート ヴィラ」



エキゾチックな亜熱帯の植物に囲まれた高台に建ち、全部で8棟あるコテージそれぞれに、海を望む広々としたデッキがついています。ハンモックに寝ころび島の風に揺られたり、ソファに座って水平線を眺めたりと、離島ならではのゆっくりと流れる贅沢な時間を過ごすことができます。

コテージ内には、ダブルベッドとソファベッドが設置され、エアコンと冷蔵庫完備で快適にお過ごしいただけます。



「ホテルマウント富士」に日帰り入浴可能な富士山一望の露天風呂登場

HOTEL Mt. Fuji

SINCE 1963

山中湖畔の大出山山頂に建つ「ホテルマウント富士」に、山中湖と富士山を一望できる絶景の展望露天風呂を開業いたしました。

この展望露天風呂は、既存の大浴場とは別に、日帰りのお客様も気軽にお立ち寄りいただくことができる、完全開放可能な大窓を設けた半露天となっており、四季折々で表情を変える緑豊かな山中湖と雄大な富士山を同時に眺めることができます。



天上山公園カチカチ山ロープウェイ山頂駅展望台リニューアル



新展望台は今までの展望台の約2倍の広さとなり、眼前に広がる富士山の大パノラマとどこまでも広がる裾野を多くのお客様にお楽しみ頂けるようになりました。

また、たぬき茶屋では富士山にちなんだメニューや素材にこだわった抹茶を使用したドリンクなどのメニューを販売しています。



福利厚生施設の拡充

内閣府認定 企業主導型保育施設「フジQキッズガーデン」

フジQキッズガーデンは、平成27年4月に女性従業員の産前産後休暇後や育児休業明けの復職を支援することにより、女性の継続就業ならびに従業員の家庭と仕事の両立を図るための福利厚生の一環として開設し、子育てをしながら働く従業員をサポートしてきました。開設から2年が経ち、需要の拡大に伴い、この度、雄大な富士山を目の前に望む恵まれた立地に保育所を新築し、定員を10名から30名に増やし開設しました。また、これまで保育対象を富士急グループ従業員としておりましたが、地域の子育て家族も支援するため、地域枠を設け、近隣住民の皆様にもご利用頂けるようになりました。

【施設概要】

1. 施設名：富士急行保育所「フジQキッズガーデン」
2. 所在地：山梨県富士吉田市新西原5-5-22
3. 運営開始日：平成29年9月1日(金)
4. 保育定員：30名
5. 開所日：365日(年中無休)
6. 保育時間：通年7:30~18:30(延長保育時間18:30~21:00)
7. 保育対象：富士急グループの従業員及び地域住民が養育する0歳(生後57日以降)から小学校就学前の児童。

運営は、グループ会社である株式会社富士急ビジネスサポートに委託、従業員等の多様な働き方に対応するため年中無休、最大21時までの延長保育が可能であり、富士急グループ独自の保育サービスの提供、保護者からの要望を存分に反映したフレキシブルな施設運営を行います。



事業別概況

運輸事業

33%

鉄道事業では、富士急ハイランドのイベントに合わせたラッピングトレインの運行や記念入場券の発売並びにド・ドドンパオープンにあわせたセット商品の販売促進を図り増収に努めました。さらに、サウンドコニファー229等の音楽イベントにあわせた臨時列車の運行を行い、輸送力の増強と利用促進を図りました。

また、河口湖畔にある天上山公園カチカチ山ロープウェイでは、7月に飲食・物販施設の拡充を図るため、展望台のリニューアルを行い増収に努めました。

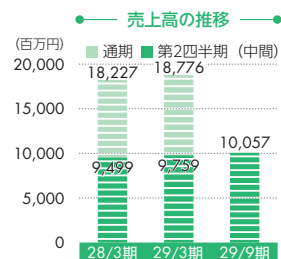
乗合バス事業では、引き続き訪日外国人の利用が増加し、富士五湖周辺の周遊バスが好調に推移したほか、登山者数の増加や吉田口のマイカー規制期間が10日間延長されたことなどにより、富士山関連輸送が好調に推移しました。

高速バス事業では、7月より成田空港直通の新規路線「富士山駅～成田空港線」の運行を開始したほか、首都圏から富士山・富士五湖エリアへの送客強化を図るため「秋葉原駅～富士急ハイランド・河口湖線」の運行を開始しました。

また、7月には富士急ハイランドやロープウェイ、河口湖遊覧船アンソレイユ号などの観光施設と河口湖周遊バスや富士山五合目線など富士山エリア周辺の路線バスがセットになった訪日外国人専用周遊パスポート「富士山フリーパス (Mt.Fuji Pass)」の販売を開始し、富士山エリアを訪れる訪日外国人の利便性向上を図りました。

貸切バス事業は、新運賃制度のもと受注に努め日車単価の向上を図り、収益の確保に努めました。

以上の結果、運輸事業全体の営業収益は100億57百万円（前年同期比3.1%増）となり、営業利益は16億3百万円（同0.6%増）となりました。



ラッピングトレイン

不動産事業

5%

不動産販売事業では、Webサイト「フジヤマスタイル」のリニューアルを実施し更なる需要を喚起するとともに、今年度供給予定の新築建売別荘「ScanDホーム山中湖」2棟を基軸にした販売キャンペーンや別荘見学会

を実施し販促に努めました。

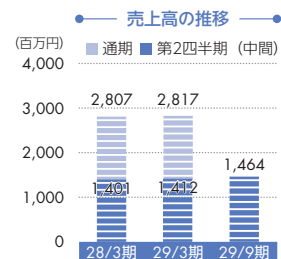
また、山中湖畔別荘地においては、オーナー向けイベントとしてゴルフコンペ、サロンコンサート、周辺祭事ならびにワイナリー見学ツアーなど各種イベントの開催、夏季オーナーズバスの運行等によりCS向上を図りました。

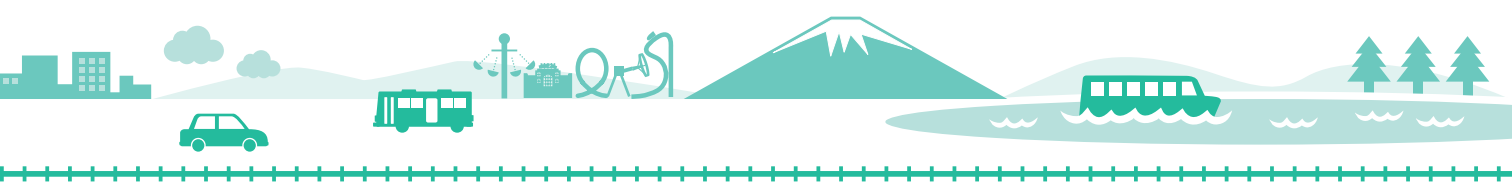
不動産賃貸事業につきましては、賃貸施設の新規貸付、社有地の有効利用を積極的に行うなど安定的な収益の確保に努めました。

以上の結果、不動産事業全体の営業収益は14億64百万円（前年同期比3.7%増）となり、営業利益は3億82百万円（同7.4%増）となりました。



「くつろぎの森」(※イメージ)





レジャー・サービス事業

51%

遊園地事業では、「富士急ハイランド」において、「ド・ドドンパ」がリニューアルオープンするとともに、「進撃の巨人」や「艦隊これくしょん」等のイベントを実施し、話題性の醸成と集客アップに取組み、また、絶叫優先券のインターネット販売も功を奏し、好調に推移しました。

「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」では、3月下旬にオープンした「マッスルモンスター」が好評を博し、新たな客層も取込み利用者が増加、7月には「じゃぶじゃぶパラダイス」がリニューアルオープンし、集客に努めた結果、大幅に収益が増加致しました。

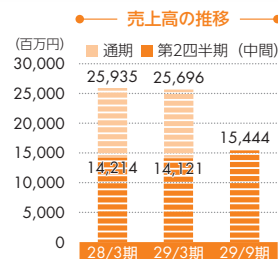
富士南麓の遊園地「Grinpa」では、「天空のチューリップまつり2017」やイベントを実施し、また、7月には水陸両用アトラクション「ビーバーフィーバー」がオープンし、多くのお客様にご来場いただきました。

ホテル事業では、富士急ハイランドに近接するカプセルホテル「キャビン&ラウンジ ハイランドステーションイン」が4月にオープンし、富士急ハイランド利用客や外国人観光客などの幅広い客層の取込みを図りました。「ホテルマウント富士」では8月に温浴棟「はなれの湯」がオープンし、「富士宮富士急ホテル」においては内装リニューアルを実施するなど、施設拡充により集客に努めました。また「熱海シーサイド スパ&リゾート」では客室リニューアル効果により、宿泊者数が増加しました。

キャンプブランド「PICA」で展開するアウトドア事業は、「グランピング」人気の高まりもあり、各施設とも好調に推移しました。

富士本栖湖リゾートの「2017 富士芝桜まつり」は10年目を迎え、国内外から大勢のお客様にご来場いただき、過去最高となる収益を達成しました。

以上の結果、レジャー・サービス事業全体の営業収益は154億44百万円（前年同期比9.4%増）となり、営業利益は23億27百万円（同32.8%増）となりました。



さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト「マッスルモンスター」

その他事業

11%

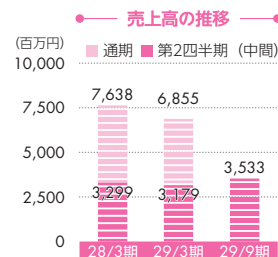
製造販売業では、富士ミネラルウォーター株式会社において、非常用保存水等の販売が減少したものの、富士急建設株式会社では、公共工事、

民間工事とも受注が大きく増加し増収となりました。

以上の結果、その他事業全体の営業収益は35億33百万円（前年同期比11.1%増）となり、営業利益は18百万円（同29.9%増）となりました。



富士ミネラルウォーター



連結財務諸表



連結貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

| 科 目 | 期 別 | 当第2四半期 連結会計期間 (平成29年9月30日現在) | 前連結会計年度 (平成29年3月31日現在) |
|----------------|-----|------------------------------------|---------------------------|
| (資産の部) | | | |
| 流動資産 | | 24,283 | 21,394 |
| 固定資産 | | 77,932 | 76,173 |
| 有形固定資産 | | 64,090 | 62,832 |
| 無形固定資産 | | 2,655 | 2,704 |
| 投資その他の資産 | | 11,186 | 10,635 |
| 資産合計 | | 102,215 | 97,567 |
| (負債の部) | | | |
| 流動負債 | | 26,536 | 22,171 |
| 固定負債 | | 48,395 | 50,154 |
| 負債合計 | | 74,931 | 72,325 |
| (純資産の部) | | | |
| 株主資本 | | 24,610 | 22,800 |
| その他の包括利益累計額 | | 1,910 | 1,713 |
| 非支配株主持分 | | 763 | 727 |
| 純資産合計 | | 27,284 | 25,242 |
| 負債・純資産合計 | | 102,215 | 97,567 |

連結損益計算書 (要旨)

単位：百万円

| 科 目 | 期 別 | 当第2四半期 連結累計期間 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで) | 前第2四半期 連結累計期間 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで) |
|----------------------------|-----|---|---|
| 営業収益 | | 28,514 | 26,791 |
| 営業費 | | 24,209 | 23,094 |
| 営業利益 | | 4,304 | 3,696 |
| 営業外収益 | | 144 | 134 |
| 営業外費用 | | 342 | 390 |
| 経常利益 | | 4,107 | 3,441 |
| 特別利益 | | 10 | 219 |
| 特別損失 | | 221 | 457 |
| 税金等調整前四半期 (中間) 純利益 | | 3,895 | 3,202 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 1,273 | 995 |
| 法人税等調整額 | | △20 | △87 |
| 非支配株主に帰属する 四半期 (中間) 純利益 | | 36 | 40 |
| 親会社株主に帰属する 四半期 (中間) 純利益 | | 2,606 | 2,254 |



単独財務諸表

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位：百万円

| 科 目 | 期 別 | 当第2四半期 連結累計期間 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで) | 前第2四半期 連結累計期間 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで) |
|-----------------------|------------------|---|---|
| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | | 7,497 |
| 税金等調整前四半期（中間）純利益 | | 3,895 | 3,202 |
| 減価償却費 | | 3,230 | 2,991 |
| その他損益等調整額 | | 220 | 372 |
| 資産・負債の増減額 | | 647 | △744 |
| 小計 | | 7,994 | 5,822 |
| 利息の支払額等 | | △496 | △1,449 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | △3,095 | △4,304 |
| 有形固定資産の取得による支出 | | △3,232 | △4,639 |
| その他 | | 136 | 335 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | △1,215 | △1,245 |
| 借入金を増減額 | | 471 | 224 |
| その他 | | △1,687 | △1,469 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | | 3,186 | △1,176 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | | 7,293 | 9,321 |
| 現金及び現金同等物の四半期（中間期）末残高 | | 10,480 | 8,144 |

単独貸借対照表（要旨）

単位：百万円

| 科 目 | 期 別 | 第117期第2四半期 (平成29年9月30日現在) | 第116期事業年度 (平成29年3月31日現在) |
|--------------|--------|------------------------------|-----------------------------|
| | (資産の部) | | |
| 流動資産 | | 20,304 | 18,066 |
| 固定資産 | | 64,748 | 63,822 |
| 資産合計 | | 85,053 | 81,889 |
| (負債の部) | | | |
| 流動負債 | | 23,443 | 19,702 |
| 固定負債 | | 42,356 | 44,156 |
| 負債合計 | | 65,799 | 63,858 |
| (純資産の部) | | | |
| 株主資本 | | 17,716 | 16,700 |
| 資本金 | | 9,126 | 9,126 |
| 資本剰余金 | | 3,400 | 3,400 |
| 利益剰余金 | | 6,425 | 5,406 |
| 自己株式 | | △1,235 | △1,232 |
| 評価・換算差額等 | | 1,536 | 1,330 |
| その他有価証券評価差額金 | | 1,536 | 1,330 |
| 純資産合計 | | 19,253 | 18,030 |
| 負債・純資産合計 | | 85,053 | 81,889 |

単独損益計算書（要旨）

単位：百万円

| 科 目 | 期 別 | 第117期 第2四半期（累計） (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで) | 第116期 第2四半期（累計） (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで) |
|---------------|------|---|---|
| | 営業収益 | | 15,799 |
| 営業費 | | 13,104 | 12,458 |
| 営業利益 | | 2,694 | 2,130 |
| 営業外収益 | | 332 | 315 |
| 営業外費用 | | 316 | 375 |
| 経常利益 | | 2,710 | 2,070 |
| 特別利益 | | 2 | 189 |
| 特別損失 | | 197 | 422 |
| 税引前四半期（中間）純利益 | | 2,515 | 1,838 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 680 | 469 |
| 法人税等調整額 | | 15 | △10 |
| 四半期（中間）純利益 | | 1,819 | 1,379 |

会社概況／株式情報

会社概要 (平成29年9月30日現在)

- 商号 富士急行株式会社
FUJI KYUKO CO.,LTD.
- 所在地 本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号
- 設立 大正15 (1926) 年9月18日
- 資本金 91億2,634万円
- 代表者 代表取締役社長 堀内 光一郎
- 主要事業 鉄道事業、自動車運送事業、土地建物の売買・貸借・媒介その他各種不動産事業、旅館業・遊園地その他各種観光事業等

役員 (平成29年9月30日現在)

| | | | |
|----------|--------|-------|-------|
| 代表取締役社長 | 堀内 光一郎 | 常勤監査役 | 小林 正幸 |
| 代表取締役副社長 | 堀内 哲夫 | 監査役 | 堀田 和也 |
| 専務取締役 | 福重 隆一 | 監査役 | 岡本 敏久 |
| 専務執行役員 | 宇野 郁夫 | 監査役 | 芦原 賢治 |
| 取締役 | 秋山 智史 | 執行役員 | 小森 哲教 |
| 取締役 | 尾崎 護 | 執行役員 | 廣瀬 昌訓 |
| 取締役 | 久代 信次 | 執行役員 | 山田 美之 |
| 取締役 | 佐藤 美樹 | 執行役員 | 古屋 毅一 |
| 取締役 | 和田 一成 | 執行役員 | 本野 晃一 |
| 取締役 | 高部 久夫 | 執行役員 | 天野 克宏 |
| 取締役 | 鈴木 薫 | 執行役員 | 上原 厚憲 |
| 取締役 | | 執行役員 | 齊藤 隆憲 |

株式の状況 (平成29年9月30日現在)

| | |
|------------|---------------|
| ■ 発行可能株式総数 | 331,695,000 株 |
| ■ 発行済株式の総数 | 109,769,477 株 |
| ■ 株主数 | 5,227 名 |

大株主 (平成29年9月30日現在)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 公益財団法人堀内浩庵会 | 12,912 | 12.10 |
| 株式会社エフ・ジェイ | 12,708 | 11.91 |
| 日本生命保険相互会社 | 10,633 | 9.96 |
| 富国生命保険相互会社 | 9,724 | 9.11 |
| 朝日生命保険相互会社 | 6,120 | 5.73 |
| 株式会社東京ドーム | 3,052 | 2.86 |
| みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託スルガ銀行口 再信託受託者資産管理サービス 信託銀行株式会社 | 2,555 | 2.39 |
| 日野自動車株式会社 | 2,506 | 2.35 |
| 日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口) | 2,503 | 2.34 |
| 株式会社山梨中央銀行 | 2,473 | 2.32 |

- (注1) 当社は自己株式3,026,050株保有しておりますが、上位10名の株主からは除外しております。
- (注2) 持株比率は自己株式を控除して算出してあります。
- (注3) 富国生命保険相互会社は、上記以外に当社の株式900千株を退職給付信託として信託設定しており、その議決権行使の指図権は富国生命保険相互会社が留保しております。なお、株主名簿上の名義は「日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・富国生命保険相互会社退職給付信託口)」であります。
- (注4) みずほ信託銀行株式会社・退職給付信託 スルガ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社の持株数2,555千株は、スルガ銀行株式会社から、みずほ信託銀行株式会社に委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権はスルガ銀行株式会社が留保しております。

連結子会社の状況 (平成29年9月30日現在)

- 【運輸部門】
- 岳南電車(株)
 - 富士急行観光(株)
 - 富士急山梨バス(株)
 - 富士急シティバス(株)
 - 富士急静岡バス(株)
 - (株)フジエクスプレス
 - 富士急湘南バス(株)
 - 富士急オートサービス(株)

- (株)静岡ホールディング
- 富士急静岡タクシー(株)
- 富士急山梨ハイヤー(株)
- (株)富士急マリリゾート

【レジャー・サービス部門】

- (株)富士急ハイランド
- (株)フジヤマリゾート
- 相模湖リゾート(株)

- ハイランドリゾート(株)
- (株)ホテル富士急
- 表富士観光(株)
- 富士急安達太良観光(株)
- 富士観光興業(株)
- 富士急トラベル(株)
- (株)ピカ

- 【不動産部門】
- (株)富士急リゾートアメニティ
- 【その他部門】
- (株)富士急百貨店
 - 富士急建設(株)
 - (株)レゾナント・システムズ
 - 富士ミネラルウォーター(株)
 - (株)富士急ビジネスサポート

その他7社

単元未満株式の買取・買増制度のご案内

【単元未満株式の買取請求・買増請求について】

当社の単元株式数は100株ですので、100株未満の単元未満株式は市場で売ることができません。お持ちの単元未満株式を当社が買い取るか（買取請求）、もしくは1単元である100株とするために、当社から単元未満株式を買い増す（買増請求）ことができます。

※平成29年10月1日より単元株式数が1,000株から100株に変更となりました。

【単元未満株式の買取・買増制度の概要】

買取制度

ご所有の単元未満株式を当社に買取よう請求できる制度です。

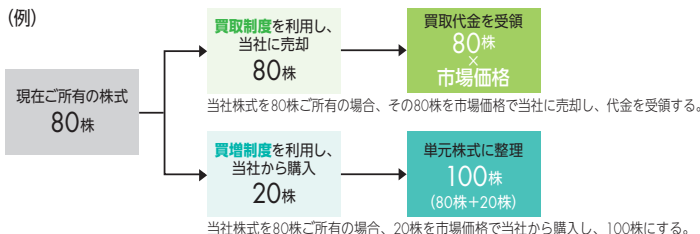
買増制度

ご所有の単元未満株式を1単元（100株）の株式にするために必要な数の株式を買増すことを当社に請求できる制度です。

【お手続きについて】

■ 証券会社に口座を開設されている株主様
口座のある証券会社にお問い合わせください。
ただし、株券電子化以前に株券が発行されていない単元未満株式（証券会社の口座に記録されているものを除きます）をお持ちであった場合には、株券電子化実施日時点で、単元未満株式は「特別口座」に記録されておりますので、下記の株主メモ記載の三菱UFJ信託銀行電話照会先にお問い合わせください。

■ 証券会社に口座を開設されていない株主様
単元未満株式は「特別口座」に記録されておりますので、下記の株主メモ記載の三菱UFJ信託銀行電話照会先にお問い合わせください。



株主メモ（平成29年9月30日現在）

| | |
|-------------|--|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel.0120-232-711（通話料無料） |
| 同連絡先 | 郵送先：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ※株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日付にて上記のとおり変更しております。 |
| 上場金融商品取引所 | 東京証券取引所 |
| 電子公告により行う | 電子公告により行う |
| 公告方法 | ※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。 |

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いさせていただきます。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。


株主優待のご案内

平成29年10月1日から
新基準となりました。

ご優待の内容


| 平成29年9月30日 までの旧基準 | 平成29年10月1日 からの新基準 |
|----------------------|----------------------|
| 35,000株以上 | 17,500株以上 |
| 20,000株以上 | 10,000株以上 |
| 10,000株以上 | 5,000株以上 |
| 5,000株以上 | 2,500株以上 |
| 3,000株以上 | 1,500株以上 |
| 1,000株以上 | 500株以上 |
| — | 100株以上※1 |

電車・バス・観光施設 共通優待券




- 電車全線乗車 (1枚につき片道1名乗車)
- バス全線乗車 (1枚につき片道1名乗車)
- 富士急ハイランド (1枚につき1名入園、5枚につきフリーパス1枚と引換)
- ぐりんぱ (1枚につき1名入園、5枚につきワンデークーポン1枚と引換)
- さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト (1枚につき1名入園、5枚につきフリーパス1枚と引換)
- 忍野 しのびの里 (1枚につき1名入園)
- スノータウンYeti (5枚につき1日入場滑走券1枚と引換)
- あだたら高原スキー場 (5枚につきリフト日券またはロープウェイ往復券1枚と引換)
- 初島アイランドリゾート (1枚につき1名入園)
- 天上山公園カチ子山ロープウェイ (1枚につき1名乗車 (往復))
- 河口湖遊覧船・山中湖遊覧船・本栖湖遊覧船 (1枚につき1名乗船)
- 初島航路 (2枚につき1名乗船 (往復))
- フジヤマミュージアム (1枚につき1名入館)
- ふじやま温泉 (2枚につき大人1名入館、1枚につき小人1名入館)
- さがみ湖温泉 うるり (2枚につき大人1名入館、1枚につき小人1名入館)
- あだたら山 奥岳の湯 (1枚につき1名入館)

フリーパス引換券



- 遊園地フリーパス (富士急ハイランド・ぐりんぱ・さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト)
- スキー場一日券 (スノータウンYeti・あだたら高原スキー場)


高速バス乗車券



高速バス乗車券

※高速バスご利用について
高速バス乗車券は、「富士五湖～新宿線」「富士山五合目～新宿線」「甲府～新宿線」「富士五湖～東京線」「富士宮～東京線」「富士～東京線」「沼津～東京線」「沼津～新宿・渋谷線」「三島～新宿・渋谷線」「河口湖～渋谷線」の富士急便に限りご利用いただけます。

電車・バス全線 優待パス



電車・バス全線優待パス
(表示された持参人1名)

| | | | |
|-------|----|----|----|
| 40枚 | 6枚 | 4枚 | 1枚 |
| 40枚 | 5枚 | 4枚 | |
| 25枚 | 4枚 | 2枚 | |
| 15枚 | 3枚 | 1枚 | |
| 10枚 | 2枚 | | |
| 10枚※2 | 1枚 | | |
| 5枚 | | | |

変更のポイント ※1 100株以上500株未満の区分を新設しました。
※2 500株以上1,500株未満への「電車・バス・観光施設共通優待券」の発行を7枚から10枚に拡充しました。

長期保有特別優待券*



「ハイランドリゾート ホテル&スパ」
「ホテルマウント富士」の指定する
ツインルーム室料100%または
ホテル内レストラン利用料30%
割引券
(3年に1度の発行となります。)

3枚

2枚

2枚

施設割引券

| ご優待の内容 | | 枚数 |
|---|--|----|
| ハイランドリゾート ホテル&スパ | 1枚につき1室室料20% または自社企画宿泊商品 10%割引 | 2枚 |
| ホテルマウント富士 | | |
| ホテルマウント富士 プール割引券 | 20%割引 (1枚につき4 名まで) | 2枚 |
| 富士山ステーション ホテル | 1枚につき1室室料1,000 円割引 | |
| 富士宮富士急ホテル | 1枚につき1室室料20% または自社企画宿泊商品 10%割引 | 5枚 |
| キャビン&ラウンジ ハイランドステーション イン | 1枚につき1室室料20% 割引 | |
| 富士急グループホテル 飲食割引券 | レストラン・バー10%割 引 (1枚につき4名ま で)、「ホテルマウント富 士」では、食事付入浴10 %割引 (1枚につき4名 まで) として利用可。 | 1枚 |
| 富士ゴルフコース | 所定プレー料金から 2,000円割引 (1枚につ き4名まで) | |
| 大富士ゴルフ場 | 所定プレー料金から 2,000円割引 (1枚につ き4名まで) | 2枚 |
| ふじやま温泉 | 入館料 平日大人1,000 円 小人500円 土休日 大人1,300円 小 人600円 (1枚につき4名 まで) | |
| さがみ湖温泉 うるり | 入館料 平日大人850円 小人400円 土休日 大人930円 小人 450円 (1枚につき4名ま で) | 2枚 |
| あだたら山 奥岳の湯 | 入館料 平日、土休日と も大人500円 小人300 円 (1枚につき4名まで) | |
| 忍野 しのびの里 | 食事処「雪月風花」5%割 引 (1枚につき4名まで) | 2枚 |
| PICA山中湖ヴィレッジ | コテージ1棟10%割引、 レストラン「FUJIYAMA KITCHEN」5%割引 | |
| PICA富士吉田・PICA富 士西湖・キャンピカ富士 ぐりんば・パディントン ペアキャンプグラウンド | 1枚につき1泊1室10%割 引 | 1枚 |
| 富士ミネラルウォーター | 1枚につき20%割引 (1 ケース以上) | 1枚 |
| 富士急トラベル | パッケージ旅行代金の5% 割引 (1枚につき4名まで) | 2枚 |
| 富士急オートサービス | 車検・点検・整備 工賃 10%割引 | 1枚 |

■ 当該新基準については、平成30年3月31日現在の株主名簿に記載されている株主様への発送分(平成30年5月下旬発送予定)より適用します。

■ 平成29年10月1日から単元株式数の変更(1,000株から100株) および株式併合の実施に伴い、株主優待基準も一部変更となりました。

● 株主優待券の発行時期及び有効期間

当社の株主優待は毎年3月31日及び9月30日現在で100株以上ご所有の、株主様のご所有株式数に応じてそれぞれ5月下旬、11月下旬に発行いたします。

| | 発行時期 | 有効期間 |
|-------------|------|-----------|
| 3月31日現在の株主様 | 5月末 | 11月30日まで |
| 9月30日現在の株主様 | 11月末 | 翌年5月31日まで |

注) 長期保有特別優待券の有効期間に限り、「1年間」といたします。

● 長期保有特別優待券について*

■ 長期保有特別優待券は過去3年間すべての基準日(3月31日、9月30日)の株主名簿において、対象となる株式数以上を継続して保有し、かつ株主番号または氏名・住所が継続して同一である株主様へ3年経過ごとに発行しております。**(3年に1度の発行となります。)** 相続による名義人の変更があった場合、また、継続保有されている株主様であっても基準日現在において、何らかの理由で同一の株主名簿上に対象株式数を保有していない場合は対象となりませんのでご注意ください。

■ 長期保有特別優待券は年末年始、ゴールデンウィーク、夏期ハイシーズン等ホテルが定めた日のご宿泊にはご利用いただけません。またレストラン利用料の割引額の上限は3万円といたします。その他、ご利用方法については優待券の裏面をご覧ください。



富士急行株式会社

本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号

<http://www.fujikyū.co.jp/>



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。